

反射体

反射体 はんしゃたい

中性子が炉心から漏れ出る量を減らし、より少ない燃料で運転を維持するため、炉心の周辺におかれる物質をいう。出力分布を平坦にする働きもある。反射体には中性子吸収が少なく散乱断面積が大きい材料が用いられる。通常では炉心の減速材と同じ材料が用いられることが多い。反射体領域で高い中性子束が要求される研究炉では重水やベリリウムが用いられる。

<登録年月>

1998年01月
